



## 『つながり』を大切にしよう

2学期がスタートし、2週間が過ぎました。暑かった夏もようやく終わりに近づいているようです。朝晩の風が涼しく感じられ、夕方は暗くなるのが早くなりました。昼間は、セミが鳴いていたのに、夕方になるといろいろな虫の音が聞こえてくるようになりました。登下校中に見える周りの田んぼの色も黄金色に変わり、秋を感じる季節になってきました。まだまだ、日中の気温の高い日がありますので、暑さ対策をしながら、学校教育活動を進めてまいります。

さて、〇〇の秋とよく言われますが、スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋、どんな秋にしますか？学校の秋は、いろいろな行事がたくさんあります。

2学期は、『つながり』を大切にしたい学期にしたい」と学校通信 No.6 でお伝えしました。では、「つながり」とは、どんなことなのでしょう。

人とのつながりで、人を笑顔にする「思いやり算」のお話はしました。人とのつながりを大切に生活してほしいことと、もう一つは、**学びのつながり**です。

「学び（まなび）のつながり」とは、

### 1. 教科間のつながり

教科を学ぶときに、それらの知識が互いに関連し、より深い理解が得られることです。たとえば、理科で植物の成長を学んだ後に、国語の授業でその植物に関する詩を読むなど、教科のつながりがあると、学んだことをつなげて考えることができます。



### 2. 実生活とのつながり

学校で学んだことが、生活でどのように役立つかを理解することです。たとえば、算数の計算方法が買い物で使えることや、理科の知識が家での料理や掃除に役立つことを実感することで、学んだことが生活とつながり、学びがいを感ずることがあります。

### 3. 友達や先生との学びのつながり

クラスメートや先生と話すことで、自分とは違う見方や考え方に気付くことができます。グループ活動や話し合いをして、いろいろな意見やアイデアを知ること、学びが広がります。友達同士で教え合ったり、意見交換をしたりすることも、学びのつながりを深める一つの方法です。

### 4. 地域や社会とのつながり

校外での体験活動や社会科見学を通じて、学校の外での学びが深まります。例えば、社会科見学や収穫体験など、実際の体験を通じた学びは、教科書で学習したことと実社会を結びつける重要な経験です。

授業で学んだことを、他の授業や家での生活、お友達との話、お家の人との話、住んでいるところとつなげていくことで、みなさんの学びがより深まり、豊かなものとなります。この2学期は、「学び（まなび）のつながり」を意識してみましょう。

## 体験活動を通して

2学期がスタートし、まだ2週間ですが、さまざまな体験活動がありました。9月3日に行われた村上農園での1・2年生の「梨の収穫体験」や9月5日にふれあい牧場での1・2年生の「校外学習」生活科で学習している内容と結びつく体験学習となりました。



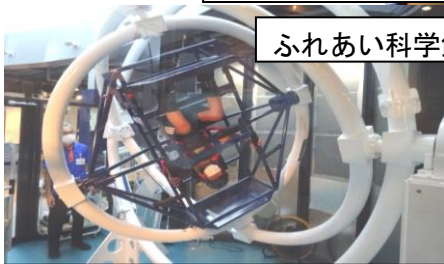
梨の収穫体験



石筵ふれあい牧場での校外学習



ふれあい科学館での体験学習



4年生の「郷土を学ぶ体験学習」は、わが街郡山の歴史や文化を体験する学習です。市制100周年の記念すべき年に、科学館や美術館で体験したり、観察したり、観賞したりすることで郷土への興味関心を広げる貴重な機会となりました。

## 6年生「茶道教室」

9月9日(月)に、大日本茶道学会坂本しづ様をお招きし、茶道教室が行われました。伝統文化に触れながら礼儀作法や感謝の心を学ぶことができました。日本人が大切にしている「おもてなし」の心や「ものを大事にする」心を学び、相手を思いやることの大切さを学びました。



体験した感想は、「昔の人の考えや知恵が分かった」「お茶をたてるのが難しかった」「初めて茶道を知って、家でも道具を準備してやってみたい」「お湯の温度の少しの加減でお茶の味が変わった」「ふだん飲んでいるお茶と違った」「自分でたてたお茶がおいしかった」と言っていました。

茶道の歴史や道具の名称や意味、菓子とお茶の意味等を教えていただき、貴重な体験となりました。

## 「小泉小学校の教育活動の充実と発展を図るために」

9月2日(月)に本校で取り組んでいる教育活動の充実と発展を図るために、郡山市教育委員会教育長様はじめ7名の方が、小泉小学校に来校し、指導助言をいただきました。

午前中の授業を参観し、午後は授業の進め方はどうだったのかの協議会の中で、のびのびと活動していて明るい子どもたちだった、授業の中での対話活動が活発に行われており、学ぶ姿がある、タブレット端末の使い方が上手で一つのツールとして授業の中で効果的に使っている、先生と子どもの関係が良好である等、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。

今後の授業の取り組み方として、子どもたちが「なぜそうなるの?」「どうしてこうなるの?」という疑問や探求心をもっともてるような工夫をすること。「子どもたちが、友達と対話することで、解決のヒントを得たり、一緒に探ったりしながら学習を進めていくともっと深まりますね」とご助言をいただきました。今後、子どもたちの学びを広げ、深められるように、教職員一同研修を重ねていきます。

